

2025年度（第22期生） 公益財団法人 長谷川留学生奨学財団 奨学生募集要項

公益財団法人長谷川留学生奨学財団（以下「本財団」という）は本財団奨学金により、東京都内の大学において勉強・研究する、アジアからの外国人留学生を対象とした奨学生を募集いたします。

1. 趣旨

本財団の奨学金制度は、東京都内に在住し、かつ都内に本拠を持つ大学に在籍するアジアからの留学生に対し、奨学金の援助を行い、より充実した勉学・研究を継続させることにより、国際社会に寄与・貢献することを目的とする。

2. 応募者の資格

全てに該当するか要確認

- (1) アジア各国からの留学生（国費留学生は対象外）
- (2) 東京都内に本拠を持つ私立、国公立大学および大学院、短期大学に在籍し、学長、学部長または研究科長の推薦を得た者
- (3) 東京都内に居住していること

【注意】 支給期間が1年に達しない留学生は応募不可
財団行事に参加できる方

3. 募集人数 40名程度

2025年4月時点において 学部可、オーバードクター不可

短期大学2年生、大学2年生以上、大学院修士課程、博士課程に在籍する者、ただし専門職大学院在籍者は除く。また、大学院に進学希望であっても、2024年11月時点で「研究生」の身分では2025年度の奨学生に応募できない。

4. 支給期間及び支給金額

(1) 支給期間

- ① 短期大学生 1年間
- ② 大学生 2年間(4年次から受給の者は1年間、但し修士課程進学の場合は2年間)
- ③ 修士課程 2年間(2年次から受給の者は1年間、但し博士課程進学の場合は2年間)
- ④ 博士課程 2年間(3年次から受給の者は1年間、但し医、歯、獣医学系の者で、3年次から受給の者は2年間、4年次から受給の者は1年間、薬学系で4年課程の者は医、歯、獣医学系の者に準ずる)

(2) 支給金額

- ① 短期大学・大学生 月額100,000円
- ② 修士課程在籍生 月額120,000円
- ③ 博士課程在籍生 月額150,000円

ただし、もう一方の奨学金も併給可である事。2/4
 不明点があれば募集要項を見せて下さい。
 詳細を確認します。気づかず併給していると一括返還等の
 厳しい措置の可能性があります。

(3) その他

他奨学金との併給は可とする。

ただし有職者およびそれに準ずる者として、学術振興会特別研究員DC、文部科学省科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業、JST次世代研究者挑戦的研究プログラム、その他の国立研究開発法人や大学独自の事業による安定的な支援、または、関連する企業・団体等からの給与・役員報酬等の安定的な収入を得ている学生は対象外とする。また、奨学期間中にこれらの対象となった者は奨学生資格喪失とする。

5. 選考

(1) 選考方法

- ① 書類審査 選考委員会による審査 面接は日本語
- ② 面接試験 選考委員会による対面形式の口頭試問 必ず日本にいる方を優先します
 (勉学に対する意欲などを中心に質疑応答するが、補助的に筆談を併用することもある)
 ※実施日 **2025年1月26日(日)**
 面接試験に参加しない場合は失格と判断される。

(2) 選考結果

選考結果については、各大学等の奨学金担当部署を通じ通知する。
 例年3月中旬結果発表、4月中旬認定授与式有

6. 応募手続

奨学生志願者は下記の書類を在籍する大学を通じ、**2024年11月29日(土)**までに当財団まで提出のこと(必着)。提出された書類は一切返却しない。

申請書類にある身元保証人は

1	奨学金応募申請書 当財団ホームページからダウンロード ¹⁾ 。応募者本人が記入後、A4用紙に印刷したもの エクセルファイルに入力 (「13 当財団からの連絡先」は大学奨学金担当者が記入のこと)	1通
2	推薦書 当財団ホームページからダウンロード ¹⁾ 。A4用紙に印刷後、応募者の指導教員または担当教員が記入し、責任者(学長、学部長または研究科長)の「公印」を押印したもの	1通
3	志望動機など 当財団ホームページからダウンロード ¹⁾ 。A4用紙3枚に印刷したものに、必ず応募者本人が自筆で記入すること。印字や代筆は不可。	1通
4	写真(6ヶ月以内撮影、6×4cm上半身・正面・脱帽) ※1枚は申請書に貼付	2枚
5	在籍大学既修成績証明書(評価基準付) ²⁾ 正本 学内選考時はコピー可	1通

学内選考時提出書類：1、3、5(コピー可)、6、

7・8(該当者のみ)

公益財団法人 長谷川留学生奨学財団

学内選考
通過者のみ
提出要

6	出身国最終学歴における成績証明書 (コピー可)	1通
7	大学院在籍者で、すでに研究テーマを有する者はその研究概要書類 ³⁾ 該当者のみ	1部
8	語学検定等を含む資格等取得している者は、取得証のコピー 該当者のみ	1部

※提出書類 1～3 は原則として日本語で記述する。難しい場合は英語でも可とする。

※成績証明書・写真を除き、提出書類はすべて A4 用紙に印刷したものを提出する。電子データでは受け付けない。

※申請書類がすべて完全かつ正確に記載されていない場合、また付属書類が全て揃っていない場合は受理しない。

※提出先

公益財団法人 長谷川留学生奨学財団 事務局

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-3-6 ワカ末ビル7F

1) 各種検索エンジンから

長谷川留学生奨学財団  で検索

または <http://www.hasegawa-zaidan.or.jp/index.html> を入力

本財団ホームページ「奨学金制度の概要」より申請書類 (①～③) を、下記ID、パスワードを入力してダウンロード。

II 

パ 

(注：パスワードは貴学内のみで使用のこと)

2) 大学1年次学生は半期分 (春学期、前期など) の成績証明書が発行されれば応募できる。評価が全て通年など、成績証明書が全く取得できない場合は応募を認めない。

修士課程 博士課程前期の1年次は、大学4年生時の成績証明書

博士課程 博士課程後期は、大学4年生次と以降(修士課程)の成績証明書

3) 研究テーマのタイトルと研究の概要 (目的、方法および結果、今後の目標、参考文献等、日本語または英語で記載する)。書式はA4縦(上下2cm、左3cm、右2cmの余白、フォント10.5 pt、40行程度)で、図表を含めて1ページとする。

すでに研究成果を公表した (予定も含む) 応募者は、以下についても併記する。査読付き学術雑誌へ掲載、投稿・掲載受理状況 (タイトル、著者全員、学術雑誌名、年度、巻号、ページなど)、2025年3月末日まで (発表予定も含む) の学会発表 (タイトル、発表者全員、学会名、年月日など) 一覧を記載すること。 **大学名、所属、学年、名前も明記**

7. 奨学金支給の休止、停止及び廃止 **必ず全て読んでください**

奨学生が次のいずれかに該当する場合、理事会の決定により、奨学金の支給を休止、停止、又は廃止することがある。

- (1) 奨学生が休学又は長期に渡って欠席したときは、奨学金の支給を休止する。
- (2) 奨学生の学業又は素行などの状況により、支給が相応しくないと財団が判断したときは奨学金の支給を停止する。
- (3) 奨学生が次の各号の一に該当すると認めるときは、在籍校推薦者の見解を確認した上で、奨学金の支給を廃止する。その際、支給済みの奨学金については返還を求めることがある。
 - ① 同一学年に留まったとき。
 - ② 傷病などのため成業の見込みがなくなったとき。
 - ③ 学業成績又は素行が不良になったとき。
 - ④ 奨学金を必要としない理由が生じたとき。
 - ⑤ 前各号の他、奨学生として適当でない事実があったとき。

8. 注意事項

- (1) 本奨学金は、あくまで奨学生本人の日本における勉学・研究を奨励支援するために支給するものであり、奨学生においては、支給目的に沿わない使い方をしないよう十分心がけること。
- (2) 奨学金の受給条件に変化が生じたときは、速やかに届けること。
- (3) 奨学生は留学期間中、日本語学習、専門の勉学・研究以外に、日本及び東京に対する理解を深めるように努めること。
- (4) この要項に記載してある事項について、不明な箇所又は他に疑問があれば、本財団に文書または電子メールで照会のこと。

9. 問合せ先

公益財団法人 長谷川留学生奨学財団 事務局

〒100-0002 東京都千代田区千代田1-1-1
 〒100-0002 東京都千代田区千代田1-1-1
 〒100-0002 東京都千代田区千代田1-1-1

<個人情報の利用について>

当財団が奨学事業に関して取得する個人情報は、当財団の奨学生選考、奨学事業に関する業務に限定して使用いたします。ご提示いただく個人情報につきましては、個人情報保護に関する法令・規範および当財団の個人情報保護方針を遵守し、適切に利用管理いたします。

学内選考締切	11月5日(火)
学内選考結果発表	11月12日頃
再提出書類締切	11月18日(月)頃
財団締切	11月28日(木)

以上